



I 第 41 週の発生動向 (2025/10/6~2025/10/12)

1. 百日咳については、下北保健所管内を除く 5 保健所管内で患者が報告されています。手洗い等の基本的な感染対策の徹底をお願いします。
2. 新型コロナウイルス感染症については、県全体の定点当たりの報告数は減少していますが、引き続きインフルエンザの予防もかねて、「手洗い・手指消毒」、「咳エチケット」、「室内の換気」等の基本的な感染対策の徹底をお願いします。

※現在、国及び国立健康危機管理研究機構が警報・注意報の基準値について確認を進めているところですが、県の週報に記載する発生動向では、当面の間、従前の基準値を用いて注意喚起を行います。

<感染症の窓>

今週のテーマは「風しんの排除認定」です。

最終ページに掲載しています。

II 第 41 週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

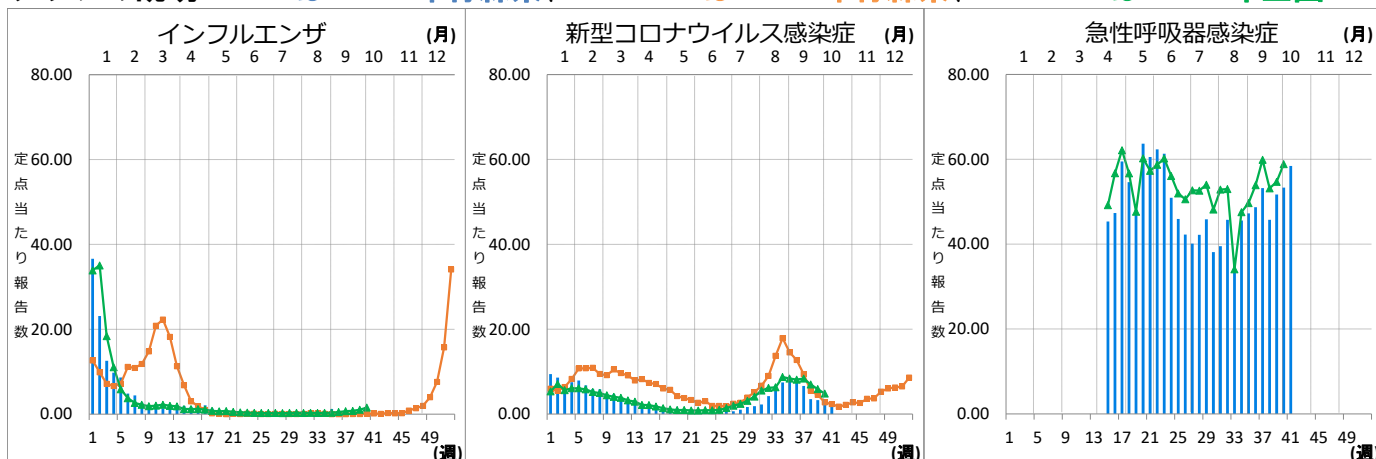
青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

は警報、は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

		東青 (東津軽+ 青森市保健所)		中南 (中南保健所)		三八 (三戸+ 八戸市保健所)		西北 (西北保健所)		上北 (上北保健所)		下北 (下北保健所)		青森県計		前週 からの 増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
急性 呼吸器 感染症	インフルエンザ	8	0.73			7	0.70	2	0.33	5	0.56	8	1.33	30	0.58	15
	新型コロナウイルス感染症	16	1.45	24	2.40	24	2.40	15	2.50	22	2.44	16	2.67	117	2.25	-36
	急性呼吸器感染症	943	85.73	430	43.00	506	50.60	349	58.17	490	54.44	321	53.50	3039	58.44	266
小児科	RSウイルス感染症	2	0.33	2	0.33	6	0.86			1	0.17	3	0.75	14	0.41	6
	咽頭結膜熱	3	0.50	1	0.17	1	0.14							5	0.15	-3
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	0.83	7	1.17	15	2.14	2	0.40	2	0.33	17	4.25	48	1.41	24
	感染性胃腸炎	15	2.50	6	1.00	20	2.86	11	2.20					52	1.53	-13
	水痘	1	0.17			2	0.29					1	0.25	4	0.12	0
	手足口病	7	1.17	2	0.33					1	0.17			10	0.29	-6
	伝染性紅斑					2	0.29	2	0.40	1	0.17			5	0.15	0
	突発性発しん	2	0.33			1	0.14			2	0.33			5	0.15	-4
	ヘルパンギーナ	4	0.67	1	0.17	8	1.14	2	0.40					15	0.44	-10
	流行性耳下腺炎					1	0.14					1	0.25	2	0.06	1
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎			3	1.00									3	0.33	2
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎			1	1.00									1	0.17	1
	マイコプラズマ肺炎	2	2.00					5	5.00			6	6.00	13	2.17	2
	無菌性髄膜炎															0

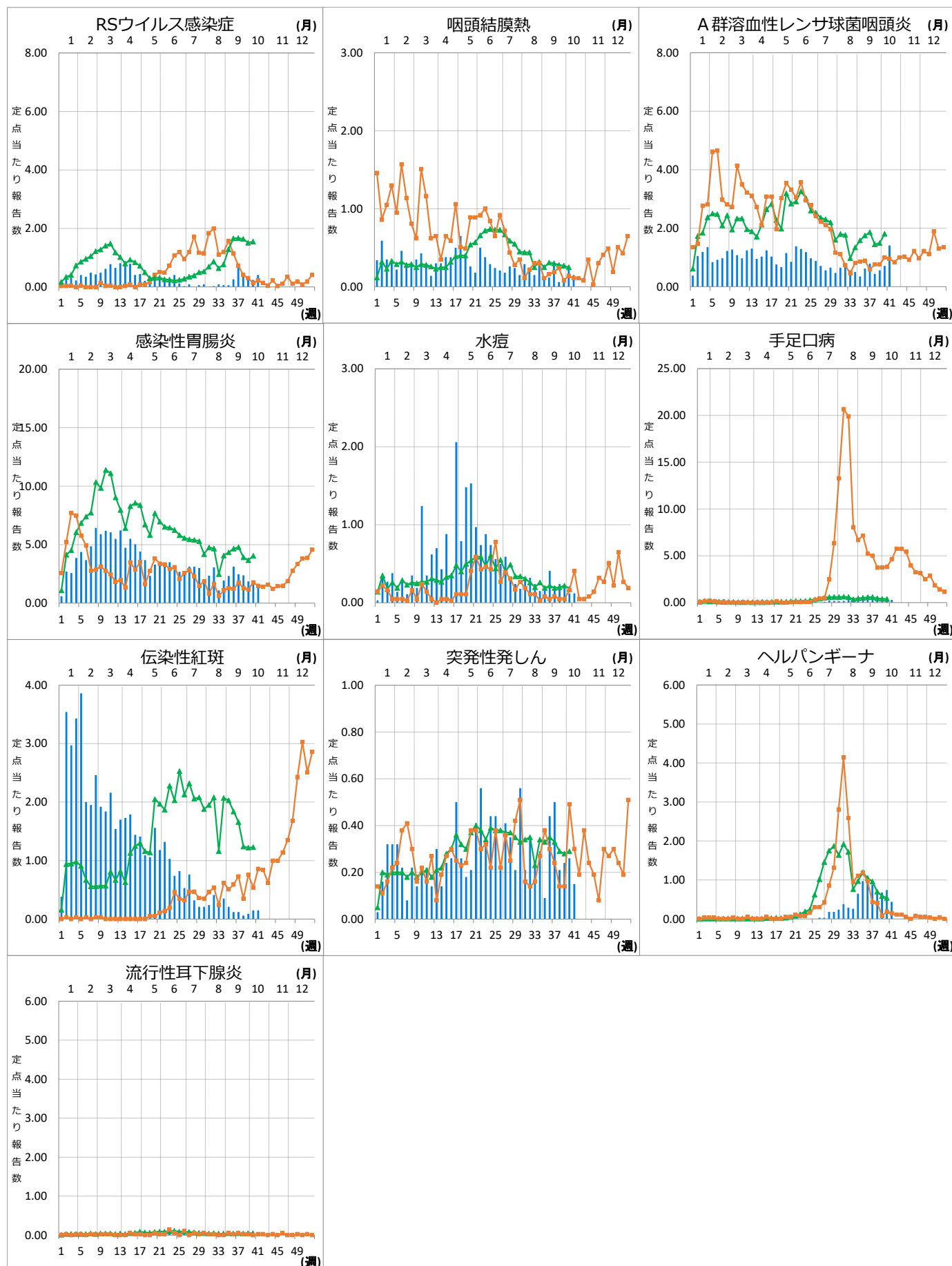
III 定点把握対象疾患週別推移(急性呼吸器感染症定点)(2025 年第 41 週、ただし全国は前週)

グラフの説明 〇—は 2025 年青森県、■—■は 2024 年青森県、▲—▲は 2025 年全国

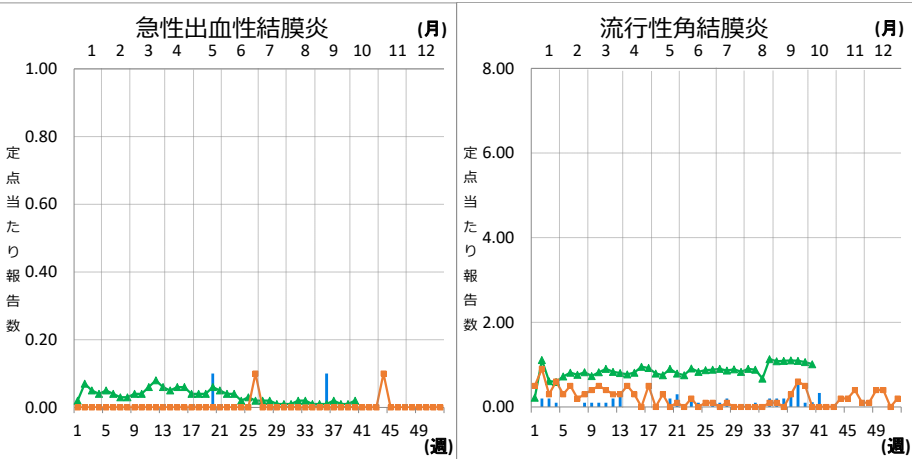


Ⅳ 定点把握対象疾患週別推移（小児科定点）（2025 年第 41 週、ただし全国は前週）

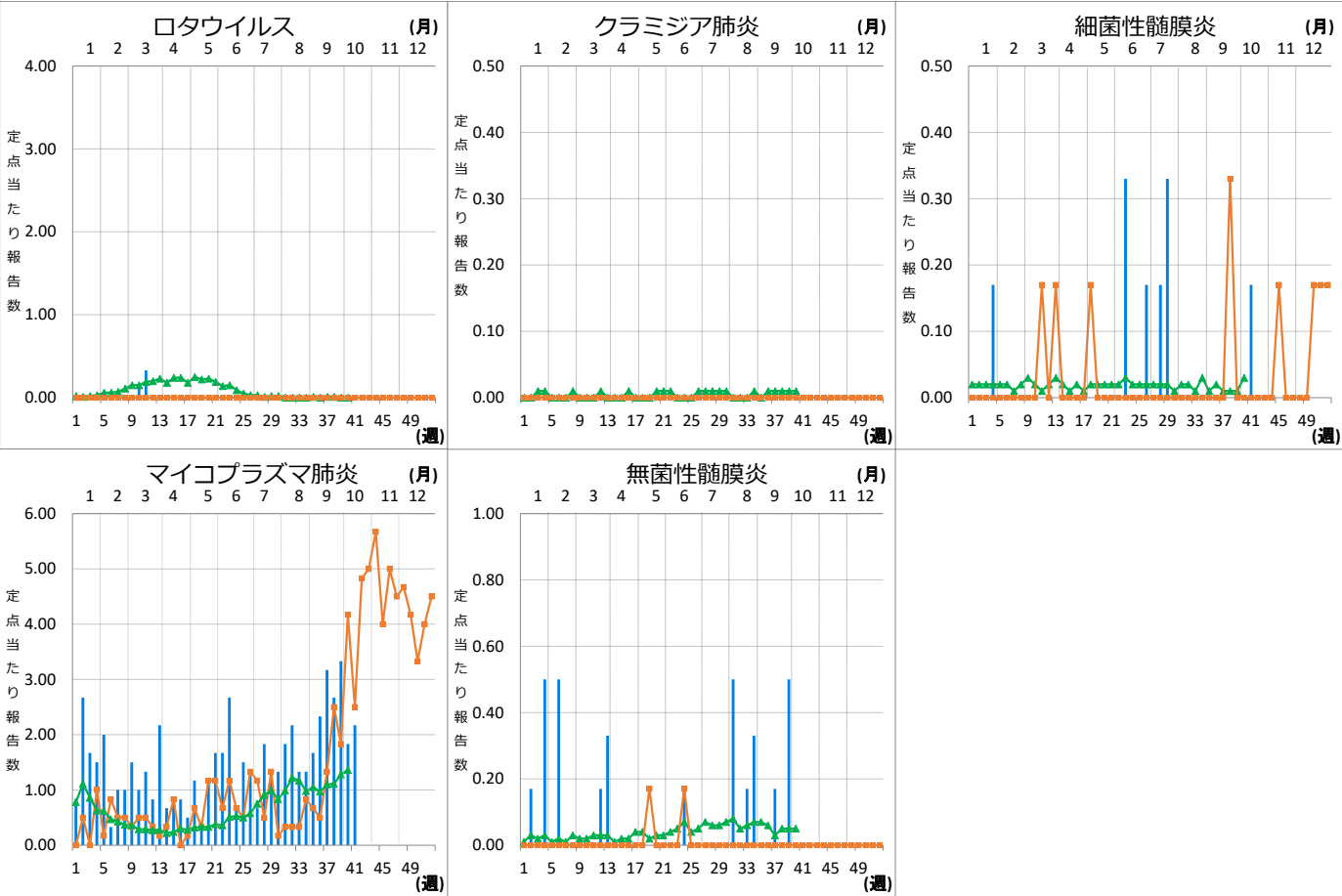
グラフの説明   は 2025 年青森県、 は 2024 年青森県、 は 2025 年全国



V 定点把握対象疾患週別推移（眼科定点）（2025 年第 41 週、ただし全国は前週）
 グラフの説明👉**——は 2025 年青森県、■——■は 2024 年青森県、▲——▲は 2025 年全国**



VI 定点把握対象疾患週別推移（基幹定点）（2025 年第 41 週、ただし全国は前週）
 グラフの説明👉**——は 2025 年青森県、■——■は 2024 年青森県、▲——▲は 2025 年全国**



Ⅶ 急性呼吸器感染症 (ARI) 病原体検出情報

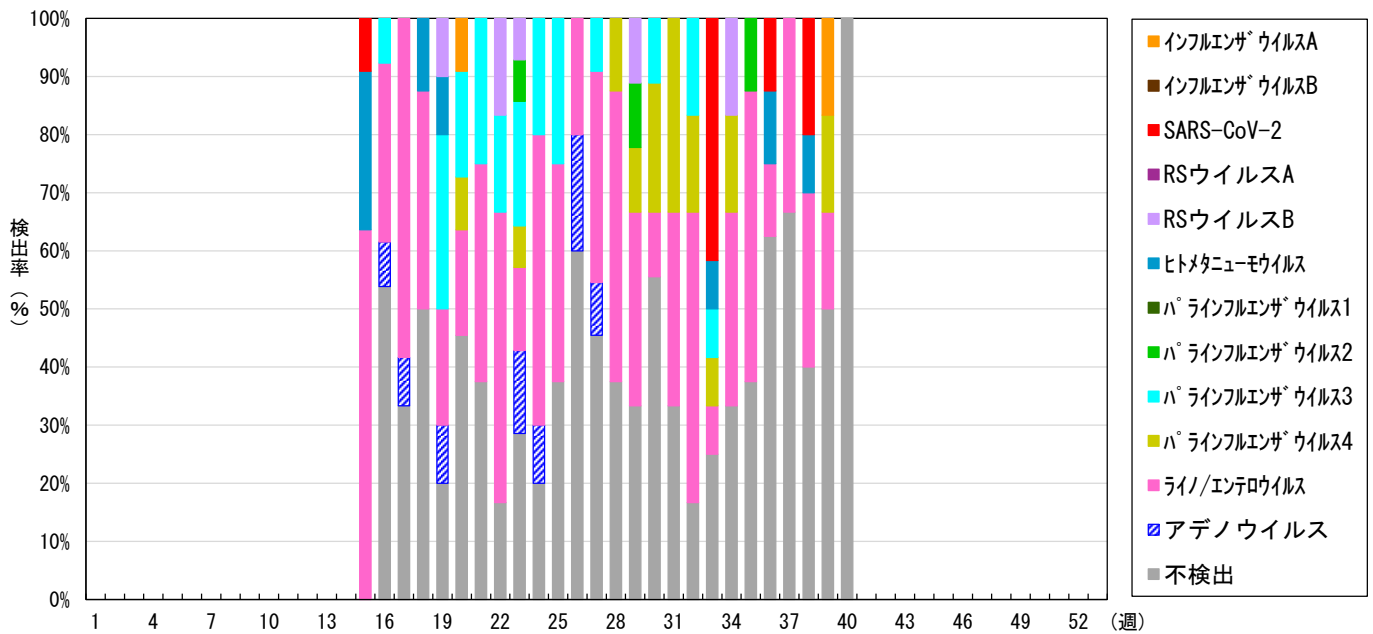
(1) 急性呼吸器感染症病原体定点からの提出検体数及び結果判明分 (2025 年第 34～41 週)

急性呼吸器感染症	2025年							
	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週
提出検体数	5	8	7	9	10	6	6	8
インフルエンザウイルスA	0	0	0	0	0	1	0	
インフルエンザウイルスB	0	0	0	0	0	0	0	
SARS-CoV-2	0	0	1	0	2	0	0	
RSウイルスA	0	0	0	0	0	0	0	
RSウイルスB	1	0	0	0	0	0	0	
ヒトメタニューモウイルス	0	0	1	0	1	0	0	
パラインフルエンザウイルス1	0	0	0	0	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス2	0	1	0	0	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス3	0	0	0	0	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス4	1	0	0	0	0	1	0	
ライノ/エンテロウイルス	2	4	1	3	3	1	0	
アデノウイルス	0	0	0	0	0	0	0	
不検出	2	3	5	6	4	3	6	
検査待ち	0	0	0	0	0	0	0	8

※第34週に提出された検体のうち、RSウイルスB及びライノ/エンテロウイルスが重複して検出されたものが1検体ありました。

※第36週に提出された検体のうち、ライノ/エンテロウイルス及びSARS-CoV-2が重複して検出されたものが1検体ありました。

(2) 検出された病原体の週別推移 (2025 年第 15 週～)



Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（第 41 週）

- ・結核(二類感染症) : 青森市 2 人、三戸 1 人、上北 2 人 (2025 年計: 94 人)
- ・腸管出血性大腸菌感染症(三類感染症) : 中南 1 人、八戸市 1 人 (2025 年計: 34 人)
- ・デング熱(四類感染症) : 青森市 1 人 (2025 年計: 1 人)
- ・カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(五類感染症) : 八戸市 1 人 (2025 年計: 7 人)
- ・クロイツフェルト・ヤコブ病(五類感染症) : 青森市 1 人 (2025 年計: 4 人)
- ・百日咳(五類感染症) : 青森市 1 人、中南 1 人、八戸市 2 人、西北 1 人、上北 1 人 (2025 年計: 728 人)

Ⅷ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況 (2025 年第 38 週～2025 年第 41 週)

週	東青 (東津軽保健所+ 青森市保健所)	中南 (中南保健所)	三八 (三戸保健所+ 八戸市保健所)	西北 (西北保健所)	上北 (上北保健所)	下北 (下北保健所)
38	結核1人 腸管出血性大腸菌感 染症1人 百日咳3人	結核1人 百日咳2人	百日咳1人		百日咳2人	
39	百日咳1人	百日咳2人	結核3人 梅毒1人 百日咳2人		百日咳1人	百日咳1人
40	梅毒1人	結核1人 侵襲性インフルエン ザ菌感染症1人 梅毒1人 百日咳1人	結核3人 腸管出血性大腸菌感 染症1人 百日咳1人	百日咳2人		腸管出血性大腸菌感 染症1人
41	結核2人 デング熱1人 クロイツフェルト・ヤコ ブ病1人 百日咳1人	腸管出血性大腸菌感 染症1人 百日咳1人	結核1人 腸管出血性大腸菌感 染症1人 カルバペネム耐性腸 内細菌目細菌感染症 1人 百日咳2人	百日咳1人	結核2人 百日咳1人	

第 40 週に、中南保健所管内で梅毒の届出が 1 件ありましたので追加しました。

X 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2025 年第 1 週～第 40 週までの累計）										
分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	エムボックス
累積報告数	10842	3	42	3239	25	8	448	109	23	6
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	オウム病	回帰熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症
累積報告数	9	6	6	169	2	19	107	130	506	1
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ボツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性弛緩性麻痺
累積報告数	1	19	16	1	1816	35	346	187	962	25
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）
累積報告数	412	20	141	1091	654	31	533	67	2711	521
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類		
疾病名	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症		
累積報告数	10730	131	75	65	80719	10	229	8		

青森県（2025 年第 1 週～第 41 週までの累計）										
分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性脳炎
累積報告数	94	34	1	15	1	1	7	1	7	1
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類		
疾病名	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒	破傷風	百日咳		
累積報告数	4	5	1	4	14	19	1	728		

XI 病原体検出情報 ※（ ）内は、検査材料及び検体採取日
デング熱疑い患者（血清、10/6）・・・デングウイルス 1 型：青森市 1 人

Ⅺ 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2025 年第 41 週

報告週	施設種別	発症者数	管轄保健所
第41週	報告なし		

2025 年報告件数及び症者数

施設種別		月(週)																計 (施設別)
		1月 1-5週	2月 6-9週	3月 10-13週	4月 14-17週	5月 18-22週	6月 23-26週	7月 27-31週	8月 32-35週	9月 36-39週	10月 40週41週42週43週44週				11月 45-48週	12月 49-52週		
介護・老人福祉関係施設	件数	1	4	4	4	1	0	0	0	0	0	0					14	
	発症者数	7	70	69	78	11	0	0	0	0	0	0					235	
児童・婦人関係施設等	件数	4	10	8	7	1	3	1	1	0	0	0					35	
	発症者数	74	228	136	128	25	50	22	13	0	0	0					676	
障がい関係施設	件数	0	2	2	1	1	0	1	0	0	0	0					7	
	発症者数	0	37	25	10	5	0	11	0	0	0	0					88	
その他施設	件数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0					1	
	発症者数	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0					10	
計(月別)	件数	5	16	14	12	3	4	2	1	0	0						57	
	発症者数	81	335	230	216	41	60	33	13	0	0						1009	

感染症の窓

令和7年9月26日、世界保健機関西太平洋地域事務局により、新たに日本の風しんの排除が認定されました。風しんの発生状況について継続的に情報収集・分析した結果、日本土着の風しんの感染が、3年間確認されないか、または遺伝子型の解析によって感染がないと示唆されたことによります。

風しんは、2008年から、五類全数把握疾患に分類されています。2011年から海外で感染して帰国後に発症する輸入例が散見され、2013年には全数把握疾患となつてから最も多い累計14,344例の報告がありました。その後は一旦落ち着いたものの、2018年に再度関東地方を中心とした流行があり、風しんの追加対策を実施しました。2020年は101例、2021年～2024年は9～15例で推移し、2025年第39週現在は10例の報告があります。青森県においては、2019年、2020年にそれぞれ1例の報告があり、2021年以降の報告はありませんが、感染力が強く、またいつ流行するかわからない状況ですので、注意が必要です。

風しんの予防には、ワクチンの接種が最も有効です。定期接種の対象年齢である子どもの保護者の方は、かかりつけ医に相談のうえ接種の積極的な検討をお願いします。また、妊娠を希望する女性や同居者の方等は、赤ちゃんの先天性風しん症候群を予防するため風しん抗体検査もご検討ください。

○風しん抗体検査を実施しています！（青森県庁 HP）

<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenko/hoken/2013-rubella.html>

○詳しい情報はこちらをご覧ください。

☞ [世界保健機関西太平洋地域事務局により日本の風しんの排除が認定されました\(厚生労働省 HP\)](#)

風しんの排除認定

